

- 問1 室町時代、借金に苦しむ農民たちが「一揆」を起こして団結し、幕府に対して借金の帳消しを求める法令を出すよう要求しました。このとき出された、債務の破棄を命じる法令を何といいますか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
1. 徳政令 2. 刀狩令 3. 武家諸法度 4. 御成敗式目
- 問2 応仁の乱当時の将軍である足利義政は、京都の東山に慈照寺（銀閣）を建立しました。この時期に栄えた、質素で幽玄な美意識を特徴とする文化の名称と、銀閣に見られる現代の和室の原型となった建築様式の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 奈良公立入試 類似)
1. 東山文化 — 書院造 2. 北山文化 — 寝殿造 3. 元禄文化 — 蔵造 4. 天平文化 — 校倉造
- 問3 第8代将軍である足利義政が京都の東山に銀閣（慈照寺銀閣）を建てた時期の社会情勢について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2020年 岩手県公立入試 類似)
1. 将軍の補佐役である管領の家督争いや将軍の跡継ぎ問題が重なり、応仁の乱が始まった。 2. 北条氏が執権として政治の実権を握り、元軍の襲来に備えて防塁を築いた。 3. 幕府の役職である老中が中心となり、株仲間の解散を命じる天保の改革が行われた。 4. 天皇を中心とする政治を取り戻すため、建武の新政が開始された。
- 問4 室町時代、足利義満の保護を受け、父である観阿弥とともに猿楽を洗練させ、舞台芸術としての「能」を大成させた人物は誰ですか。 (2023年 大阪公立入試 類似)
1. 世阿弥 2. 観阿弥 3. 雪舟 4. 近松門左衛門
- 問5 鎌倉時代に中国から伝えられた禅宗は、座禅などの厳しい修行を通じて自らを律する教えが武士の精神に合致し、広く普及しました。この禅宗の僧であり、墨の濃淡のみを用いて自然などを描き出す手法を大成させた人物は誰ですか。 (2024年 歴史公立入試 類似)
1. 雪舟 2. 法然 3. 空海 4. 親鸞
- 問6 中世の社会情勢をまとめた資料において、武士による政権の成立や、有力な農民による村の自治、裕福な商工業者による都市の自治といった動きが見られます。これらの社会変化を支えた、農業や諸産業の発展に伴う経済的な動きとして、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 滋賀公立入試 類似)
1. 各地で特定の日にちを決めて定期市が開かれ、物資の流通が盛んになった。 2. 幕府が和同開珎などの貨幣を大量に鑄造し、全国の市場に流通させた。 3. 商人が幕府から独占販売の権限を与えられ、株仲間を結成して利益を上げた。 4. 飢饉による米不足から、都市の民衆が米屋を襲う打ちこわしが頻発した。
- 問7 中国、琉球王国、日本の三つの地域における当時の物の動きについて、中国から琉球王国へ運ばれ、さらにそこから日本（薩摩藩など）へと送られた品物の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2026年 群馬公立入試 類似)
1. 生糸・絹織物・薬草 2. 鉄砲・火薬・銀 3. 毛織物・ガラス製品・時計 4. 茶・陶磁器・米
- 問8 14世紀の東アジア情勢をまとめた年表において、中国での「明の建国」や朝鮮半島での「朝鮮国の建国」と同時期の日本の状況として正しいものはどれですか。 (2015年 大分県公立入試 類似)
1. 平氏を滅ぼした源頼朝が、征夷大将軍に任命されて鎌倉幕府を開いた 2. 織田信長や豊臣秀吉が、各地の戦国大名を屈服させて天下統一を進めた 3. 後醍醐天皇による建武の新政が崩壊し、持明院統と北條氏統の2つの朝廷が並立した 4. 徳川家康が関ヶ原の戦いで勝利し、江戸に幕府を開いて全国を支配した
- 問9 12世紀に発生した、天皇家の継承問題や藤原氏の内部抗争に、平清盛や源義朝ら武士が動員された出来事について、この出来事の名称とその後の歴史的背景として適切な説明はどれですか。 (2022年 茨城県公立入試 類似)
1. 保元の乱であり、武士の実力が中央の政治闘争に不可欠であることが認識される契機となった。 2. 建武の新政であり、武士の不満を解消するために公家を重視した新しい政治が展開された。 3. 大化の改新であり、唐の制度に倣った律令国家の建設が進められることとなった。 4. 保元の乱であり、この直後に後醍醐天皇が隠岐から戻り、鎌倉幕府を滅亡させた。
- 問10 室町時代に明との間で行われた貿易において、貿易船が「勘合」と呼ばれる札を持参した最大の目的は何ですか。 (2023年 岡山公立入試 類似)
1. 正式な貿易船と、沿岸部で略奪を行う倭寇を区別するため。 2. 輸出品である刀や銅の数量を、明の税関に正確に報告するため。 3. キリスト教徒ではないことを証明し、仏教徒のみが貿易できることを保証するため。 4. 貿易による利益を幕府だけでなく、朝廷にも分配することを証明するため。
- 問11 14世紀の中世日本において、現在の青森県に位置する日本海側の港を拠点とし、アイヌの人々との交易品を畿内へもたらすなど、北東北と中央を結ぶ遠隔地取引で栄えた豪族の活動拠点として正しいものはどれですか。 (2021年 愛知公立入試 類似)
1. 十三湊 2. 堺 3. 博多 4. 坊津
- 問12 室町時代の中世社会についてまとめられた学習年表において、村の自治が進んだ時期の空欄を埋める組織名を考えます。有力な農民を中心に結成され、「寄り合い」と呼ばれる会議を通じて村のルールを定め、共同体としてのまとまりを強めた自治組織の名称として正しいものはどれですか。 (2025年 岐阜公立入試 類似)
1. 惣 2. 座 3. 五人組 4. 株仲間
- 問13 室町時代後期の15世紀後半、京都の東山に山荘を築いた第8代将軍の足利義政は、禅宗の影響を受けた簡素で気品のある「東山文化」を築きました。この文化を代表する建築物で、二層の楼閣からなり、下層に住宅様式の新しい特徴が見られるものを次の中から選びなさい。 (2023年 島根公立入試 類似)
1. 銀閣（慈照寺） 2. 金閣（鹿苑寺） 3. 平等院鳳凰堂 4. 唐招提寺金堂
- 問14 足利義満が行った明（中国）との貿易について、その特徴を説明した文として正しいものを次の中から選びなさい。 (2020年 福島県公立入試 類似)
1. 義満が明の皇帝から「日本国王」として認められ、臣下の礼をとる朝貢貿易の形式で行われた 2. 博多や堺の商人たちが中心となり、幕府の許可なく自由に行われた対等な民間貿易であった 3. 元寇による対立が続いていたため、正式な国交は結ばず密貿易の形で行われた 4. オランダや中国の船に限定して長崎の出島のみで取引を行う、制限された貿易であった

答え合わせ・解説

問1	答え 1 徳政令	室町時代には貨幣経済が浸透し、農民たちが土地を質に入れて借金をする状況が生まれました。生活に困窮した農民は「土一揆」を起こし、幕府に借金の帳消しを迫りました。1428年の正長の土一揆がその代表例で、これによって出された法令が徳政令です。この法令により、質入れされた土地や物品を無償で元の所有者に返還させることが可能となりました。
問2	答え 1 東山文化 — 書院造	足利義政が京都の東山に築いた山荘（慈照寺）を中心に栄えた文化を東山文化と呼びます。3代将軍足利義満の時代の華やかな北山文化に対し、禅宗の影響を受けた質素で落ち着いた雰囲気の特徴です。銀閣の同仁斎などに代表される「書院造」は、畳敷きや障子、床の間を備えた様式で、現代の日本住宅（和室）のルーツとなっています。
問3	答え 1 将軍の補佐役である管領の家督争いや将軍の跡継ぎ問題が重なり、応仁の乱が始まった。	足利義政が東山文化を築いた室町時代中期には、有力な守護どうしの対立が深まっていました。特に将軍の補佐役である管領の家系（畠山氏や斯波氏）の家督争いに、将軍足利義政の跡継ぎ問題、さらに守護の細川氏と山名氏の対立が結びつき、1467年に応仁の乱が勃発しました。この戦乱により京都は荒廃し、幕府の権威は大きく衰退することとなりました。
問4	答え 1 世阿弥	室町幕府の第3代将軍である足利義満は、北山文化の時期に多くの文化人を保護しました。その中で世阿弥は、父の観阿弥とともにそれまでの猿楽（田楽や猿楽などの庶民的な芸能）を洗練された歌舞劇へと発展させ、現代まで続く「能」を完成させました。観阿弥は世阿弥の父、雪舟は室町時代の水墨画家、近松門左衛門は江戸時代の人形浄瑠璃の作者です。
問5	答え 1 雪舟	鎌倉時代に伝えられた禅宗は、その精神性が武士に好まれ、室町時代にかけて水墨画などの独自の文化を生み出しました。雪舟は禅宗の僧として修行しながら中国（明）に渡って絵画の技法を学び、帰国後に日本の水墨画を芸術として完成させました。選択肢にある法然は浄土宗、空海は真言宗、親鸞は浄土真宗の開祖です。
問6	答え 1 各地で特定の日にちを決めて定期市が開かれ、物資の流通が盛んになった。	中世では、農業の発展により農民や商工業者が経済力を蓄えたことで、村や都市での自治的な動きが強まりました。こうした経済的基盤となったのが、各地で特定の日に開催された定期市です。なお、和同開珎は奈良時代の出来事であり、株仲間や打ちこわしは江戸時代の特徴的な経済・社会現象です。
問7	答え 1 生糸・絹織物・薬草	琉球王国が中国から朝貢貿易を通じて手に入れた代表的な品物は、当時の日本国内で高い需要があった生糸や絹織物、そして貴重な薬草でした。琉球はこれらの中国製品を日本へ持ち込み、代わりに日本や琉球近海で採れた海産物などを扱うことで、物流のネットワークを構築していました。
問8	答え 3 後醍醐天皇による建武の新政が崩壊し、持明院統と大覚寺統の2つの朝廷が並立した	14世紀の日本は、鎌倉幕府が滅亡した後の「建武の新政」から、足利尊氏らによって北朝と南朝の2つの天皇・朝廷が対立する「南北朝時代」へと移行した時期にあたります。中国での明の建国（1368年）や、朝鮮半島の高麗滅亡と朝鮮国建国（1392年）は、いずれもこの日本の南北朝の動乱期と同じ世紀に起きた出来事です。
問9	答え 1 保元の乱であり、武士の実力が中央の政治闘争に不可欠であることが認識される契機となった。	1156年に起こった保元の乱は、皇位継承や藤原摂関家の内部対立が原因ですが、解決のために武士の軍力が利用されました。これにより、それまで貴族に従う地位にあった武士が政治の表舞台に立つきっかけを作り、後の平氏政権や鎌倉幕府へと繋がる武家社会の形成に大きな影響を与えました。
問10	答え 1 正式な貿易船と、沿岸部で略奪を行う倭寇を区別するため。	明との貿易は「勘合貿易」と呼ばれますが、これは「勘合」という紙の札を照合させたことに由来します。当時、正式な許可を得ずに活動する海賊（倭寇）との区別が困難であったため、半分に割った札の片方を明側、もう片方を日本側が持ち、入港時にそれを合わせることで正規の船であることを証明しました。
問11	答え 1 十三湊	14世紀の北東北では、安藤氏（安東氏）などの豪族が津軽地方の十三湊を拠点に活動しました。ここではアイヌの人々から得たサケやコンブといった北方産品を、日本海交易を通じて近畿地方などの遠隔地へ運ぶ大規模な商業ネットワークが形成されていました。これは中世における日本の領域を超えた多様な交流を示す重要な史実です。
問12	答え 1 惣	室町時代になると、農民たちは生産力の向上や自衛の必要性から結束を強め、「惣（惣村）」と呼ばれる自律的な村落組織を形成しました。この組織では、有力な農民たちが「寄り合い」という会議を開き、村独自の掟（村法）を定めたり、用水路や入会地（山林）の管理を行ったりするなどの自治を行いました。選択肢にある「座」は商工業者の組合、「五人組」は江戸時代の連帯責任制度、「株仲間」は江戸時代中期以降に公認された商人の組合です。
問13	答え 1 銀閣（慈照寺）	足利義政によって建てられた銀閣は、東山文化の象徴的な建築物です。1層目は「書院造」という住宅様式で造られており、2層目は禅宗様式の仏殿となっています。華麗な金閣（北山文化）とは対照的に、わび・さびを感じさせる落ち着いた美しさが特徴です。
問14	答え 1 義満が明の皇帝から「日本国王」として認められ、臣下の礼をとる朝貢貿易の形式で行われた	足利義満は南北朝の合一を実現して国内を安定させた後、1401年に明へ使節を派遣しました。義満は明の皇帝から「日本国王」の称号を授かり、明を宗主国とする「朝貢」という形式で貿易を開始しました。これにより、日本は明を中心とする東アジアの国際秩序に組み込まれることになりましたが、幕府は莫大な貿易利益を得ることができました。